

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第5回目 12月19日 9:00~10:30

康保会乳児保育所

1. 活動のテーマ

テーマ

・バイオリンの音色と光遊びを通してクリスマス会を楽しむ。

テーマの設定理由

・去年は弦楽器のみだったので、そこに光遊びを組み合わせることによる子ども達の反応を見る。

2. 活動スケジュール

・バイオリンとチェロの奏者をお呼びして行われるクリスマス会の中で、光遊びを取り入れる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・影絵用ペーパーサート ・楽器 ・譜面台 ・マイク ・カラーマット
・白い布 ・懐中電灯
・ブラックシアター(あわてんぼうのサンタクロース)
・リモコン付き口ウソク型のLEDライト ・ガチャガチャ用カプセル

4. 探求活動の実践

活動の内容

聞いてみよう(バイオリンとチェロの演奏)
音に合わせてふわりと飛んでみよう
歌ってみよう
シルエットクイズ、ブラックシアター
歌いながら、打楽器で合奏
サンタクロースの登場。消灯して手持ちライトを持ち、演奏を聞きながら光の行進をしてみよう。同時に、懐中電灯を使って壁や床に動物のイラストを映して光遊びを行う。

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり

・いつもと違う雰囲気・環境構成であったため緊張してしまう子や泣いてしまう子の姿も見られたが、保育者が抱っこ・おんぶをしたり、一度部屋を離れたりと落ち着いて参加できるような関わりを行っていった。一部と二部に分かれて行ったが、どちらも落ち着いており和やかで楽しい雰囲気で行われた。
・影絵シアターでは、動物の影を見るだけでなくバイオリンとチェロの演奏で鳴き声を表現することで、子どもたちは動物の名前を答えながら体で動きを表現して楽しんでいた。
・部屋が暗くなると驚く姿も見られたが、ライトを持って歩きながら壁や床に映し出された動物を指さし、「いたね!」とお友達や保育者と共有する姿が見られた。
・手持ちライトを持つことで手元が明るくなるのを楽しんでいた。

活動中の様子



5. 振り返り

振り返りによって得た保育士の気づき

・光遊びと音楽を融合させ、子ども達の興味のある題材を使ったことで1時間弱と長い時間であったが飽きずに楽しむことができていた。はじめは泣いてしまった子や落ち着かなかった子も、消灯して影絵シアターが始まると「なんだろう？」と興味を持って見始めたり、音楽が好きな子は演奏に合わせての手遊びを積極的に参加したりと、子どもたちそれぞれの好きが詰まった内容となっていた。

・手持ちライトがきりん組のみの使用であったが、他クラスの子ども達も持ちたがった為持てる子と持てない子がいた。トラブルになる事はなかったが、今後また行う場合は多めに用意しても良い。

・イベントだけでなく、音楽を流しながら光遊びを行うのは各クラスでも楽しめると感じたため、クラスでの活動内容に盛り込んでいきたい。